

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	トイロ青葉台		
○保護者評価実施期間	2025年11月1日		～ 2026年1月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	88	(回答者数) 45
○従業者評価実施期間	2025年11月1日		～ 2026年1月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・スタッフ同士のコミュニケーションが多く、児童に対する支援に対してサービスの統一性を意識している。	・毎日、朝礼と終礼を行い児童の共有や1日の流れをスタッフ間で実施している。 ・ミーティングの機会が多いこと。朝礼、終礼、単位ごとの会議、教室会議など、話し合いの機会を多く設けている。	・保護者参観などのイベントを用意し、事業所での児童の様子を保護者に見ていただく。 ・専門性の知識を高めるために事業所として外部研修等を実施していく。
2	・単位ごとにではなく、単位全体での共有を行い、教室全体で児童の把握が出来ている。	・ミーティングの機会が多いこと。朝礼、終礼、単位ごとの会議、教室会議など、話し合いの機会を多く設けている。 ・単位での配置だけではなく事業所全体で一人一人をみていけるようにしている。	・事業所全体で連携を図り、支援の透明性と統一性を高められるような取り組みを増やせるようにする。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・父母会や保護者同士の交流機会が提供できていない。	・保護者からの要望がなく実施に至っていない。	・アンケートの実施を行っていき、必要な場合には開催する。
2	・近隣の学童やキッズクラブとの交流が薄い。	・送迎以外の交流が持てていない。	・児童の共有や保護者共有などを通じて連携を強めていきたい。
3			

公表等からの事業所評価の集計結果

事業所名 トイロ青葉台

公表日 2026年3月10日

利用児童

数 88

回収数 45

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	40	2		3		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	35		2	8	当日の職員が何人いるかわからない。	連絡帳などを通じて公開していきたい。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると	29	10	3	3	階段があり、下り上りが大変。	構造上の解決は困難ですが事業所内は対応しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思	35		5	5		
適切 な支 援の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある	40	3	2			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容	40	3	2			
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的	45					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライン	37	3		5		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか	42			3		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思	40	3	2			
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する	20	9	11	5	一緒に活動する機会がない。	活動の機会が増えるように企画を実施します。
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等に	39	2	1	3		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなさ	39	4	1	1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー	39	4	1	1		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状	42			3		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	41	2		2		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	45					

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の	35	3	7			
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されて	41			4		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされてい	42	1	1	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡	42			3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	45					
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ	39			6	マニュアルがわかりません。	契約時や面談更新時に周知していく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要	43	2				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される	35	5	1	4	災害時の対応が不透明。	契約時や面談更新時に周知していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡	45					
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	45					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	45					
	29	事業所の支援に満足していますか。	45					

公表 所における自己評価結果

事業所名 トイロ青葉台

公表日 2026年 3月 10日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	17			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。	14	3		階段がありそちらは構造上の問題のため対応は困難ではありますが、事業所内はバリアフリーに対応している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもが安心して過ごせる環境になっているか。	17			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められているか。	17			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）が実施されているか。	15	2		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けているか。	17			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	14	3		第三者による評価は実施していないが自己評価を実施している。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等での研修を実施しているか。	15	2		
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	17			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者の関係性を構築しているか。	17			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理指針に基づき作成しているか。	17			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が実施されているか。	17			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォローアップを行っているか。	17			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインに基づき作成しているか。	16	1		

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	17			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	17			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ	17			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支	17			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支	17			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善	17			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直	17			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数	17			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己	17			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議	17			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育	16	1		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校	17			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達	7	10		就学前に利用していた施設との情報共有はほとんどできていないので情報共有できるようにしていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事	7	10		情報共有の場を設けられるように移行先と連携していけるようにしていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じて	16	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活	7	10		ニーズとして求められておらず、アンケートを実施し必要に応じて実施していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	17			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状	17			
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プ	17				
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明	17				

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	17			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	17			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	17			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等によ	8	9		ニーズとして求められておらず、アンケートを実施し必要に応じて実施していく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	17			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用すること(17			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	17			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	17			
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	10		招待することはなかったため、機会を作りたい。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、	17			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備	17			定期的に避難訓練を実施している。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認	17			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対	17			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な	17			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安	17			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策につ	17			毎月報告しスタッフ全員が報告、確認できる体制が整っている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応	17			定期的に虐待防止研修が実施されている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的	17			身体拘束は会社ルールがあり、必要に応じて保護者に同意書を記入いただいている。